

みやさき し じょう げ すい どうきょく ち ほう こうえい き ぎょう
宮崎市上下水道局は、地方公営企業です！

地方公営企業とは、県や市町村が経営(けいえい)する「きぎょう」です。
「地方公営企業法」という法律によって、事業(じぎょう)を行っています。

県庁や市役所は、みなさんから集めた「税金(ぜいきん)」で道路や橋を作るなどの住民サービスを行いますが、たとえば水道事業は、みなさんが払われた水道料金を利益(もうけ)として、それを元にして「運営(うんえい)」していく「独立採算制(どくりつさいさんせい)」で事業を行っています。

じょう げ すい どうきょく き ぎょう
上下水道局とは、どんな企業なのでしょう？

上下水道局は、宮崎市に生活する人や産業を行なう人が、いつでも「質(しつ)」や「量(りょう)」に満足できる水を届けたり、汚水(お污水)をきれいにする事業を行う企業です。

このような事業を行うには、水道では「浄水場(じょうすいじょう)」や配水池(はいすいち)・配水管などを、また下水道では、汚水処理場(お污水しょりじょう)や汚水を運ぶ管やポンプ設備などの必要な施設や設備を準備しておかなければなりません。

上下水道局では、宮崎市の未来のすがたを予想しながら、「配水管」「汚水管」「施設」などを計画的に整備(せいび)しています。このような「未来への準備」には、たくさんの「お金」が必要になることから、国などからお金を借りて整備をしています。これらの「借金(しゃっきん)」のほか、管の漏水(ろうすい)や施設が故障(こしょう)した修理費用(しゅうりひよう)なども、みなさんから集めた料金で支払っています。



造成工事中の下北川浄水場（平成26年7月現在）



建設工事中の木花処理場（平成26年7月現在）

**それでは、
つぎのパネルでそのなかみを勉強してみよう！**



すいどう じぎょう かけいば

水道事業の家計簿はどうなっているの？

水道事業を行うには、下の図のようにお金を準備して、使っているんだ。

(表1)

収入	112億円
水道料金や新しく給水管を準備して使用するみなさんからの負担金など	69億円
水道の施設や配水管を新しくするために必要な費用の借金	32億円
管破損や水道管移設工事代金その他	11億円
上下水道局が貯えているお金など	27億円

支出

139億円

古い施設や配水管を新しくしたり、災害に強い施設に整備する費用	45億円
水道の施設や配水管を新しくするために必要な借金や利息の返済	29億円
水を市内に配るための配水池や水道管を維持するための費用	22億円
浄水場の維持や水道水を作るための費用	16億円
料金を集めめる検針などの費用	5億円
水道事業で働く人の給料など	11億円
その他、事務にかかる費用	11億円

各数値は平成24年度決算額(表1)収益的収支・資本的収支より
(表2)収益的支出・有取水量より



(表2)

水を安全に飲むためには、施設を充実させなければいけないんだ！そのためにはたくさんのお金が必要なんだ！

1mの水道水をみんなの蛇口までに届けるには147円かかっています。
その内訳を見てみよう！(1mは1,000リットル)

蛇口まで水を届ける費用の3分の2は、施設や管にかかる費用なんだね。



こうきょう け すいどう じぎょう か けい ほ
公共下水道事業の家計簿はどうなっているの？

公共下水道事業を行うには、下の図のようにお金を準備して、使っているんだ。

(表1)

収入	162億円
国や市役所からの補助金	75億円
下水道使用料や新たに下水道が整備される地区のみなさんからの負担金	52億円
下水道の施設や汚水管を新しくするために必要な費用の借金	35億円
上下水道局が貯えているお金など	33億円

(表2)

支出	195億円
下水道の施設や汚水管を新しくするために必要な借金や利息の返済	83億円
下水道の施設や汚水管を新しくするための費用	46億円
汚水を施設へ運ぶ費用や汚水管を維持するための費用	28億円
処理施設の維持や汚水をきれいにするための費用	23億円
使用料を集めめる検針などの費用	3億円
下水道事業で働く人の給料やその他事務費用	12億円

各数値は平成24年度決算額(表1)収益的収支・資本的収支より
 (表2)収益的支出・有収水量より

